



機設部

OB 会便り

機設部 OB 会便り
第 1 号
平成 27 年 7 月 10 日
編集発行責任者
機設部 OB 会事務局長

機設部 OB 会便り創刊号〔夏号〕



「機設部 OB 会便り」発刊のご挨拶

機設部 OB 会事務局長 遠藤宗宏

「機設部 OB 会」は平成 15 年に発足し、爾来 13 年に亘り毎年盛大に開催されています。発端は当時多数の方々が定年を迎えられる時期になり、若松工場から日立工場に移設されて以来半世紀に亘り、苦節を共に歩んで来た方々が散り散りになってしまうことや、MH 広島へ圧延機部隊が全面移動することも予想される事態を慮られ、現加藤名誉会長より OB の方々の親睦を図ると共に、遠くの地に行かれた方々も、やがて日立に帰って来られたときに、温かく迎えられる体制を作ってはとのご示唆を体して、本 OB 会が結成されたと伺っています。会員皆様の圧延機への熱き想いと共に、歴代の世話役を務めていただいた方々の絶大なるご尽力が、他部門の方々が羨む会を運営してこられた原動力になったと感謝いたしています。

その間 OB 会に関わるご連絡は書面でいたしていましたが、諸般の事情により難しい事態となりましたことに鑑み、またメール保持者が発足当時に比較して飛躍的に増え、現在では 90% の方と交信が可能な状況を反映し、本年度よりメールでお届けすることにいたしました。折角メールで手軽に交信可能な体制になりました機会を利用し、「機設部 OB 会便り」を発行して、諸行事の状況等をタイムリーにご報告してはと思いをいたしました。

会員諸氏の年齢差も今や 35 年となり、「温故知新」の諺もありますように、鉄鋼産業大拡張期に幸運にも遭遇し、「波乱万丈」「疾風怒濤」の時代で満身の力を振り絞って過ごした時代から、受注減少で悩んだ時代、そして MH で第二の興隆期を迎えた時代等、過ぎされた時代は多々あります。その時々活躍された方々の「思いでの記」を綴っていただいたり、近況をご報告いただいたりして、「機設部 OB 会便り」を一層充実し、会員諸氏の親睦を深め、強い絆で結ばれる一助になればとも考えている次第です。ただし、体制も不備で大望はさておき「先づ隗より始めよ」とのたとえに準じ、出来ることから始めさせていただきますことをご容赦いただきますと共に、ご一読賜れば幸いです。



平成27年度機設部OB会総会開催

桜前線が歩調を合わせてくれたのか、平和通りのソメイヨシノが満開となった4月9日ホテル天地閣で、27年度「機設部OB会総会」が開催されました。平成15年に第1回の総会が開かれてから13回目となる総会で、過去最多だった昨年の57名に次いで2番目となる53名が出席されました。

事務局による昨年度の報告が始まり、スクリーンに映し出された「日立マークの消えたG棟」の写真に会場は何とも言いようのない雰囲気になりました。それも束の間、事務局の円滑な進行で、26年度活動報告及び会計報告並びに27年度活動方針について満場一致で承認されました。

26年度活動報告では、総会・懇親会が平成26年4月10日にホテル天地閣で開催されたこと、第19回懇親ゴルフが4月11日に、第20回懇親ゴルフが10月10日、いずれもグランドスラムCCで行なわれたことが報告されました。

27年度活動方針については、会員動向説明及び役員選出が行なわれました。

会員動向

会員数 : 98名

平均年齢 : 72.77歳

年齢構成 :

80歳以上	3名
79～76歳	19名
75～70歳	59名
69～65歳	14名
64歳以下	3名



新入会員として佐々木典明さんの紹介があった一方で、残念ながら増田清さん、鈴木成就さん、及川俊一さんの退会が報告されました。

平成27年度機設部OB会役員は次の方々と決まりました。(敬称略)

名誉会長 加藤孝之

顧問 谷口哲二、福井嘉吉

会長 中西恒夫

副会長 西英俊

事務局長 遠藤宗宏

副事務局長 市場節男

世話役 千葉實、中村恒雄、中田益男、渡部稔

26年度をもって中前弘和さんが役員を辞されました。中前さんは平成20年度から23年度まで世話役を、平成24年度からは事務局長を務められました。ご尽力の成果は総会出席者数にも表れており、事務局長に就かれた24年度は42名、25年度は50名と年々増加し、昨年は57名と過去最高でした。7年間の長きにわたるご尽力に心より感謝し、今後とも機設部OB会運営にご協力いただきますようお願いいたします。

総会の開会を待つロビーでは、「久しぶり！ 元気かい？」のあいさつが飛び交っていました。



総会は再会を喜びあい往時を懐かしむ和やかな雰囲気の中で進められました。議案を承認する満場の拍手は続く懇親会の開会を促すようにも聞こえました。食事が運ばれ、お酒が入ると待合のロビーから続く会話はさらに弾み、有志の近況報告や高木さんの日立理科クラブの活動状況説明が終わると、懇親会はさらに盛り上がり最高調に達しました。1年分の積もる話は終わりが見えず、万歳を三唱し閉会が告げられても、話し声は止む気配がありませんでした。



機設部OB会 懇親ゴルフの会 春季大会開催

関連記事：5 ページ 中村恒雄さん寄稿の「和気あいあい楽しむゴルフ」

機設部OB会総会の翌日、平成27年4月10日、スパ&ゴルフリゾート久慈において春の機設部OB会懇親ゴルフの会が開催されました。見上げれば曇り空でしたが啓蟄に這い出し春分を迎えたばかりの皆さんには強い日差しがない方が良かったかもしれません。優勝の望みを胸に秘めて集まった29名？、下の写真は1名足りませんね。そう会長の中西さんの入られるスペースが顧問の福井さんの脇に空いています。中西さんは、この時クラブハウスで入念な支度中でした。もちろんこの後ゴルフを大いに楽しまれたのは言うまでもありません。



結果は、渡辺忠行さんが3.5アンダーのスコアで優勝され、副賞の高品位ゴルフバッグを獲得されました。準優勝は阿保さん、3位が若松さん、5位が杉山さん、8位が中前さん、そして10位が山内さんでした。





寄稿者
機設部OB会 懇親ゴルフの会
ゴルフ世話役 中村恒雄

懇親ゴルフの会の発足

OB会会員の多くが楽しんでいるスポーツ、それがゴルフです。懇親ゴルフの会はOB会組織とは別の同好会的組織として発足しました。OB会組織が発足した平成15年の春から遅れること半年、その年の秋に第1回懇親ゴルフの会を開催しました。春にOB会総会を秋に懇親ゴルフの会という組み合わせの運営が始まりました。その後平成18年からは皆さんのご希望によりOB会総会が開催される春にも懇親ゴルフの会を開催することになり、春と秋の開催に発展しました。平成23年春の会が東日本大震災のため中止された以外は年に2回の開催が続いています。

参加者の平均年齢は75歳

懇親ゴルフの参加人員は第1回から第10回までは20名前後で推移してきました。第11回以降は20名を割り込むことはなく増加の傾向をたどりました。平成26年春の第19回には34名という過去最多参加を記録しました。OB会員の約3分の1の方が参加するゴルフの会は他のOB会では決して真似できないだろうと思われる盛況ぶりとなっています。

日立工場機械設計部には先輩諸氏のお蔭で伝統的にゴルフを楽しむという良い土壌がありました。OB会懇親ゴルフの会にはその伝統がしっかり引き継がれています。

懇親ゴルフの参加者の平均年齢はなんと75歳です。世界で最も平均年齢が高いゴルフ同好会としてギネス・ブックに載せてもらえそうな仲間たちの集まりが「機設部OB会懇親ゴルフの会」なのです。歳を重ねるにつれ飛距離は落ち、スコアの数字は小から大へ、2桁から3桁へ増えるのは避けられませんが、ゴルフの楽しみ方はいろいろあります。スコアは二の次、和気あいあいプレーを楽しむことが一番！をモットーにこの会の開催回数を積み上げていきましょう。

懇親ゴルフ世話役を担当して

私は平成21年の第11回から世話役を担当しておりますが、この役をやっていて一番嬉しいのは何といっても多くの方が参加くださったときです。

この13年間で懇親ゴルフは21回開催していますが、そのすべてに参加されたのは、西英俊さんと公賀正明さんのお二人です。皆勤に敬意を表すると共に、機設部OB会懇親ゴルフの会の発展に貢献してくださっていることに感謝いたします。

参加することに意義があるといっても、やっぱり優勝することは名誉なことです。下表をご覧くださいと2回優勝という方が数名おりますが、ここ10回は常に優勝者が入れ替わるという状況が続いており、変化と新鮮さがあります。やはりゴルフに熱心な方が良いスコアを出すということでしょうか。因みに皆勤賞ものの西さんは優勝1回、ベスト3が3回ですし、公賀さんは準優勝1回、ベスト3が2回という成績です。

この懇親ゴルフの会は本当に楽しい会です。最近はゴルフから遠ざかっているという方もいらっしゃると思いますが、健康維持・増進のためにもこの際には是非とも参加の意思決定をされますことを期待しております。

機設部OB会懇親ゴルフの会がこれからも発展し長続きするよう、微力ながら世話役としてサポートしてまいります。



回数	開催年月日	ゴルフ場名称	参加人数	優勝者氏名
1	平15.10.31	日立GC	22	平井茂男
2	平16.11.05	日立GC	19	中田益男
3	平17.10.28	日立GC	19	平井茂男
4	平18.04.07	日立GC	16	関 幸一
5	平18.11.17	日立GC	18	中村恒雄
6	平19.04.06	日立GC	21	熊井末雄
7	平19.11.09	日立GC	17	林 正廣
8	平20.04.11	日立GC	20	林 正廣
9	平20.11.21	日立高鈴GC	19	渡部 稔
10	平21.04.10	日立高鈴GC	19	西 英俊
11	平21.10.30	日立高鈴GC	23	渡辺忠行
12	平22.04.09	茨城017 GC	24	杉本 修
13	平22.10.08	久慈ガーデンGC	28	関 幸一
14	平23.10.14	金砂郷CC	24	脇田八紘
15	平24.04.06	鷹彦スリ-CC	23	安藤 宏
16	平24.10.12	日立高鈴GC	23	福井嘉吉
17	平25.04.05	久慈ガーデンGC	27	杉山徳治
18	平25.10.11	久慈ガーデンGC	25	小島龍次
19	平26.04.11	グランドスラムCC	34	田島貞好
20	平26.10.10	グランドスラムCC	29	長嶋重和
21	平27.04.10	久慈ガーデンGC	29	渡辺忠行

事務局からのお知らせ

1. 今後の行事案内

- 秋の懇親ゴルフの会は、平成27年10月9日（金） 場所は後報とします。
- 機設部OB会便り第2号（秋号）の発行は平成27年10月20日

2. 寄稿の募集

「機設部OB会便り」は会員皆様が育てる会報です。事務局では今後皆様からの寄稿を募り誌面の充実を図りたいと考えております。事務局長遠藤宗宏さんが発刊のご挨拶で触れておられますように、「思い出の記」「近況の報告」等の他、「旅行記」「感想文」（読書・会合や講演会出席等々）「趣味の話」「家庭菜園の話」などなど題材は問いません。つれづれなるままにお書きいただいて寄稿ください。また写真撮影が趣味の方も多いことと思います。季節の風景写真、特ダネ写真など自慢の1枚をお寄せください。本号の表紙写真は今年の総会集合写真ですが、次号からはこの場所を皆様のために空けておきます。

寄稿先は、機設部OB会事務局長遠藤宗宏さんのメールアドレスへお願いします。

3. 本誌の題字について

題字は「機設部OB会便り」としました。題字書体は硬質な感じのゴシックとし、OBの文字はアクセントをつけるため金属色にして面取り加工しています。題字背景の地模様は圧延機を連想するヘアライン加工したステンレス鋼板とし、懐かしい設計の道具コンパスを配しています。発行元表示は機器の仕様銘板をイメージしています。

編集後記

機設部OB会は平成15年の発足以来13年の間結成の趣意を守りながら途切れることなく開催されてきました。しかし、時の流れと共に平均年齢は73歳に迫り、若い方々の入会を渴望する状況にあります。当然ながら高齢者に優しい会の運営を目指すことも必要です。このたび発行することになった「機設部OB会便り」はメールで配布しますので、会の諸行事等についてタイムリーにお伝えできることでしょう。「ネットでつながる若者」の表現を見聞きしますが、私たちはメールで配布される「機設部OB会便り」を通して会員同士の意思疎通を図り親睦を深めてゆこうではありませんか。

圧延機部隊の一員として苦楽を共にした仲間の誰もが臆することなく帰れるところであるOB会を活気あるものとして守り続けてゆかなければなりません。この「機設部OB会便り」がその一翼を担えるよう魅力ある誌面作りに心掛け、一層の充実を図っていきたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

